

道徳通信 「若葉」



2019年(令和元年)7月10日 Vol. 1

城南中学校の道徳はこんなことをしています。

○校区研 道徳 参加者(城南中3・4・南小1・川口小1・多治米小1)

(1)「短文投稿サイトに友達の悪口を書く」と

あらすじ 口うるさく注意して来る女子がいて、その子に対して短文投稿サイトに悪口を書こうとする友人。その友人に対して、「やめたほうがいい」と言うか言わないか、悩む主人公。友情とは何か、信頼関係とは何かを考える題材。



1 2 R SNSの発達により、身近になった問題をどのようにとらえるかも大事ですが、考えさせるポイントは「友だちならきちんといけないことはいけないと言う」こと。でも、『本当にその場になって言える?』かどうかを問いました。

生徒は思わず「いや・・・言えない。」

何で言えないの? 友達なら言うべきじゃないの? 「いや、でもギスギスするかも」

「え? 私は言うよ。」「いや・・・でも。」そこら中でいろんな葛藤が生まれた瞬間に今日のポイントがあります。

<子どもたちの振り返り>

・ぼくは言いたいけど、言えないと思った。もし言っても、逆効果になるかもしれないし、よけい怒らすとおもった。・自分が正しいと思うことを貫くことが大切で、逆ギレされても、自分は正しいと思えたら怖くない。・言いたいことを言い合えるのが本当の友達だと思う。だから、いけないことを伝えることが大切だと思った。・改めて、ぼくは今やっていることや今やっていることの先に何が待っているのかよく考えようと思った。・やっぱり友達が悪いことをしようとするのであれば、友だちである「自分」がとめて注意しあったり、そうならないために相談に乗ったりすればいいと思った。

(2)「許さない心」

あらすじ 祭りの会場で、他の中学校の生徒が隠れてタバコを吸っていた。自分たちは正義感から「そんな所で、タバコを吸うなよ。」と言う。次の日に、他の中学校の生徒が学校にまで乗り込んでくる。他人に迷惑をかけていないことは正しいのか、自分さえよければいいのか。じゃ、実際にはその場で言えるのか、公德心とは何かを考える題材。

2 4 R タバコを吸わないのはあたりまえです。注意するのは大事です。では、本当にできる? 先生が2人で役割演技を行いました。さらに、自分たちも役割演技をしました。注意するという事について、しっかり考える時間となりました。



<子どもたちの振り返り>

・自分の身を守るために声はかけないほうがいいけど、注意することで吸う人が減るかもしれない。勇気を出す。・もし、自分がこんな場面にあったら、きっと注意しないと思う。でも悪いことを見て見ぬ振りするのはいけないと思うと感じた。・注意するだけが、本当に良いことではないときもある。注意するって大変だなって思った。でも注意したあとはとても誇らしく思った。

(3) 「缶コーヒー」



あらすじ 電車に乗った私。いつもと同じように同じ席で、いつも乗ってくるおばさんとの会話。そこへ若い女性が乗ってくる。片手に菓子パン、片手に缶コーヒー、大きなバッグを肩にかけ、耳にはイヤホンで「チャカチャカ…。電車が急ブレーキをかけたときに窓際に置いていた缶コーヒーが床へ落ちる。その瞬間私にコーヒーがかかる。「ごめんなさい」女性は言うが…。どんな行動ができたのか、もっと言うべきなのか、ルール・マナーって一体何かを考える題材。

32R もちろん女性は悪い。でも、電車の中で缶コーヒーを飲んではいけないのか。食べ物を食べてはいけないのか、ルールを守っていれば大丈夫なのでは？生徒は悩みました。よりよい社会をつくっていくために心がけることについてしっかり考える場面となりました。

<子どもたち振り返り>

マナーって何？ ・他人を嫌な思いにさせないためにあるもの。・みんなが安心して過ごせるようにつくられたもの。・みんなが安全にすごすためのもの。・他者に迷惑をかけないこと。・当たり前。・周りを見て、その場に適した考動をすること。

福山市教育委員会 学びづくり課 三原 指導主事 指導講話

○学習指導要領からわかること

キーワードは「多様な他者」

枠があるということ（指導案）は、教師側の目線だということ。つまり、教師は子どもたちの納得解を導く存在でありたい、と思いがち。こうしなきゃいけない、あしなきゃいけないでは子どもたちの学びは、教師の枠と重なってしまう。子どもたちは多様な意見を持っているということ。そして、多様な意見を持っているからこそ、対話が生まれ、深い学びとなっていく。「多様な他者」がいることを教師も子どもも認める。指導案がなくなり「学びづくり案」になったという意味はそこにある。子どもたちの学びをつくる。子ども目線で。

今回のテーマが公德心と友情。公德心は、特に自分たちや身の回りと関係して意見が出しやすい。「なぜルールがあるのか」それは、お互いの自由を尊重することなのではないか。このような身近な話題に対して次につながるような態度を育てたい。

